

ごあいさつ



鹿児島県始良市は、平成22年3月、県内で19番目の新市（旧加治木・始良・蒲生の3町が合併）として誕生し、新たなまちづくりの歴史がはじまりました。

本市は、県本土のほぼ中央部に位置し、県都鹿児島市をはじめ、県内主要都市に隣接するという地理的条件や交通の利便性に優れており、海・山・川といった美しく豊かな自然に加え、長い歴史に育まれてきた有形・無形の文化財が多く残っています。

また、各分野における人材も豊富で、地域の特性を踏まえたさまざまな施策を積極的に展開することで、更なる発展の可能性を秘めたまちであると考えています。

本市を取り巻く社会経済情勢は、欧州の金融不安や円高による産業空洞化、東日本大震災の復興対策などにより、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。

一方、地方分権の進展に伴って発生する新たな行政需要に対しても、地方自治体は自らの責任と判断によつて的確に対応していかなければなりません。

また、市民の価値観や生活様式の変化、環境に対する関心の高まりなど、多様化する市民ニーズに対応したサービスを提供するため、これまで以上に踏み込んだ行財政改革の取り組みが求められており、財政基盤の強化と財政構造の健全化を図り、将来にわたつて安定的な行財政運営を堅持する必要があります。

そのため、新生始良市の盤石な礎を築くべく、今後のまちづくりの指針となる「第1次始良市総合計画」を策定しました。

この計画は、始良市として備えるべき各種計画の最上位計画であり、本市の在り方とまちづくりの目指すべき将来像を示し、取り組むべき施策の柱を定めた市政発展の指針です。

基本理念として「県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり」を掲げ、県央に位置する利便性や自然の恵み、豊富な人材による知徳を活かしながら、都市的な機能と田園が融合したまちとして、市民の皆様と一体となった多様性豊かな魅力あるまちづくりを進めてまいります。

また、「子育て・教育」「地域・協働」「安全・安心・活力」という3つの視点から、施策分野を越えて重点的に取り組む施策を重点プロジェクトに位置づけました。総合的な子育て環境の推進と地域の活性化、安全・安心で活気のある生活環境づくりに、市民の皆様のご協力をいただきながら全力で各種施策を展開してまいります。

最後に、本計画の策定に当たり、貴重なご意見やご提言をくださいました市民の皆様をはじめ、熱心にご審議くださいました総合計画審議会委員ならびに関係各位に対しまして、衷心より感謝申し上げます。

平成24年3月

始良市長 筈山義弘